



熊本県学校体育功労賞を受賞して

熊本市立城西中学校 校長 金森 勲

この度は、令和4年度熊本県学校体育功労者賞という大変名誉な賞をいただきまして、とても恐縮しています。これまでお会いしました生徒、保護者、先生方のご指導やお導きのおかげと感謝申し上げます。

私が体育教師を目指したきっかけは、私が中学生時代（熊本市立城南中学校）の体育の先生との出会いです。その先生は、スポーツ万能で、体操競技専門の先生でした。校庭の高鉄棒での大車輪、跳び箱を使ってあん馬、マット運動のバク宙、平行棒での倒立などを軽くこなされのを見て憧れ、体育教師になりたいと思いました。（私は大車輪やバク宙などできませんが）

私が体育教師になりましたのは、再配置の八代第二中学校でした（6年間勤務）。二中で私の体育教師の基礎・基本、土台となるものを学びました。体育教師5名中私が一番若輩でした。4名の先輩方を見て、まずは集団行動、礼節指導、そして授業での指導、生徒指導など様々な事を教えていただき、いつもそばで見学させていただきました。たとえば、陸上競技では、ラインの引き方（mm単位まで正確に）、リレーの練習方法やバトンパス理論、徒手体操（二中体操）、各種目の指導方法、保健の効果的な授業などをみっちり学びました。当時は、宴会も多く、酒の場での体育談義や指導方法も学ばせていただきました。体育主任となった後半の3年間は、学校全体の体育や部活動の計画・立案も担当し、先輩方からアドバイスをいただきながら、指導力を磨きました。以降の体育教師としての礎となりました。

熊本市内に赴任したのは、桜山中学校（8年間勤務）。桜山2年目の時に熊本市中体連事務局に誘われ、副理事長として中体連に携わることになりました。このことが私の視野を一番広げてくれました。それまでは一学校の体育教師としての視点だったのが、市内すべての学校や中学生のお世話をするようになりました。中でも三原悟先生、日置大介先生、新垣力先生には、いつもかわいがっていただき、様々な教をいただきました。たとえば、「中体連の事務局員は、外勤が多くなる、学校で人並み以上の働きをして、外勤の時は、他の職員から心からいってらっしゃいと言われるような教師になれ。誰からも信頼される中体連を作れ。」など、考え方や生き方に至ることまでご指導いただきました。私が今、何とか定年まで勤めることができましたのも、中体連や保健体育、同勤した先生方の方のおかげとっております。

平成17年から3年間熊本市中体連理事長の任につきました。市、県、九州大会の開催に奔走しました。令和2年からの3年間は、市中体連会長の立場で、仕事をさせていただきました。その間、コロナによる中体連大会の中止やコロナ禍での大会開催など、難題がありましたが、皆様のご支援、ご理解、ご協力のおかげをもちまして、なんとかやってこれたかなとっております。お会いしましたすべての皆様に感謝申し上げます。

最後になりましたが、部活動や中体連の変革期です。今後とも部活動、中体研、中体連の末永い発展をお祈りいたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。